



## 本校の防災対策～避難訓練



昨年度までは、本校の防災対策の特徴として災害時に備えた防災物品や個別の介助計画等について掲載しました。今年度は、年に5回実施している避難訓練について紹介します。

今年度も昨年度同様、かがやきの丘エリア3校（盲学校、聾学校、きらり支援学校）合同避難訓練を年3回、本校のみの避難訓練を2回予定しています。それぞれの避難訓練計画は、『H27.危機管理マニュアル』（毎年更新）に基づいて作成しています。各訓練の想定やポイント等についてまとめましたので、御覧ください。



### 4月23日～医療療育センターとの合同 火災想定避難訓練（本校のみ）

年度初めの訓練で、隣接する医療療育センター廊下に避難しました。一人一人が持っている防災ずきんをかぶりマスクをし、廊下右側に2列に並びました。センターの方の協力も得て、安全に避難することができました。



### 5月26日～3校合同地震・火災想定 避難訓練

日にちと時間の予告なしで実施しました。きらりの第一避難場所は、校舍裏側の職員駐車場です。小・中・高学部毎に2列ずつになり、人員確認ボードを利用して安否確認しました。



### 8月27日～3校合同不審者想定 避難訓練

秋田東署の警察官に協力をいただき、実施する予定です。夏休み中に3校職員対象の不審者対応研修会を開催し、対応の仕方や対処法、伝達方法等を確認してから行うことで、実際の避難行動と結びつけています。



### 11月24日からの週～3校・センター合同 火災想定避難訓練

日にちと時間の予告なしで、3校と医療療育センターとの合同で実施する予定です。年度初めの訓練の反省を受けて、避難の仕方や避難時の留意点を確認します。



### 1月25日からの週～冬季地震想定 避難訓練（本校のみ）

寒い時期の訓練のため、小体育館に避難します。小体育館には、アルミラケットや毛布等の防災物品もありますが、できる範囲内で上着など自分の防寒着を持って避難します。



避難行動時のキーワードは、『お・か・し・も』。まずは放送をよく聞いて、ずきん・マスクをつけ、先生の指示の通りに動くことが第一、と伝えています。

児童生徒の安全・安心のために、これからも様々な想定で訓練を積み重ね、災害に備えていきます。

# 高等部趣向走「きらりん☆カーリング」



「きらりん☆カーリング」とは・・・？

サイコロを振り、出た目でボールの投げる距離を決めます。カーリングと同様に、的の中心にある高得点を狙ってボールを転がします。サイコロの目が運命の鍵となり、ボールを投げる力加減が高得点を獲得するポイントとなります。

## ～肢体不自由への配慮について～

### 「ボール」

見え方や手の緊張を考慮し、ボールの種類も多様にし、投げやすい素材や大きさなど、それぞれの実態に合わせて用意しました。

### 「転がす」

的を平面にすることで、生徒の身体の動きに合わせて、転がして得点できるようにしました。また、実態に合わせて補助具等を活用し、微細な動きでもボールを転がせるようにしています。



「なにができるのか」「こうすればできる」の視点で、全員が競技に参加し一体となって取り組めることを第一に考えて内容や教具等を工夫しました。結果、自分の力を発揮し熱い勝負を繰り広げられることができました。

## 教育専門監のコーナー

各校に配布されておりますので御確認ください。  
「美の国秋田ネット」からダウンロードいただけます。

## 「特別支援教育 校内支援体制ガイドライン」(三訂版)

### ーインクルーシブ教育システムとはー

それぞれの子どもが、授業内容が分かり、学習活動に参加している実感・達成感をもちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けていけるかどうか为本質的な視点です。そのため環境整備として、その時点で子どもの教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要です。

(校内支援体制ガイドラインP5より)

校内支援体制ガイドラインでは、P8～9で園・校内支援体制の進め方の3つの指針を示しています。

**指針1 実効性のある園・校内支援体制の整備**

**指針2 計画に基づく指導・支援の実践**

**指針3 教職員の専門性の向上と共通理解の推進**

共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築には「合理的配慮」と「基礎的環境整備」、さらには「多様な学びの場」の整備と「学校間連携」の推進が不可欠です。各校における教育支援の充実に向けた校内支援体制づくりに、この「特別支援教育 校内支援体制ガイドライン」をお役立てください。

特別な支援を必要とする幼児児童生徒と全ての子供に優しい授業を目指し、本校と共に、よりよい肢体不自由教育における教育的支援を考えていきましょう。



～研修会のお知らせ～日時:7月27日(月)9:00～11:00 場所:秋田きらり支援学校(会議室)

内容:「移乗とポジショニングについて」理学療法士の先生からの講話と実技体験予定です。

※なお、7月上旬に「きらりNet」とHPで詳細をお知らせします。

秋田きらり支援学校に相談・見学等の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 石川 純子 地域支援部 佐藤 忠浩

住所:〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail: kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話:018(889)8573 FAX:018(889)8575

「きらりNet」は本校ホームページから閲覧することができます。

